

わかやま 市議会 だより

No.114 令和6年(2024年)8月1日発行

目次

- ・特集 つながる、広がる、
モルックの輪 P2
- ・正副議長の挨拶／6月定例会の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・永年在職議員表彰など P12

ゆる るモ ル ク



MÖLKKY

特集vol.26

つながる、広がる、モルツクの輪

ゆるモルの原点

「ゆるく、楽しく」取材中何度もそのフレーズをおっしゃっていたことが印象的だったのは、「モルツク和歌山」会長の石垣泰伸さんと、事務局長の河村秀樹さん。

モルツク和歌山は、石垣さんと河村さんが中心となり、約6年前に和歌山城で練習会をスタートしました。縁あって石垣さんが神戸のチームへ勉強や体験に行き、僅か2週間後に開催したということで、その行動力にきょうがくしました。

本場フィンランドでは、ワインやビール、サウナとともに気軽に楽しめることも多いというモルツク。日本でいう、羽子板のような伝統的なスポーツです。初期投資も余り掛からず、ある程度の広さの芝生やグラウンドがあれば誰でも楽しめます。

石垣さんたちは、ゆるく楽しむ「ゆるモル」をモットーとしており、本場同様お酒やお花見と一緒に活動されることもあるそうです。

そんな気軽さも魅力の一つですが、多様な人が同じフィールドで一緒に競技できる柔軟さも魅力だとお二人は語ります。

モルツク和歌山とは



障害のある方やない方、老若男女問わず、約20名の方が所属しており、和歌山市内を中心に定期的に活動されています。

フィンランド発祥のスポーツ、モルツク。お笑い芸人が世界大会に挑戦したことで話題となり、人気広がっています。そんなモルツクの魅力について、一般社団法人日本モルツク協会公認団体「モルツク和歌山」会長の石垣泰伸さんと、事務局長の河村秀樹さんにお話をお聞きしました。

誰もがフェアに楽しめる

モルツクのルールはシンプルですが、3回の失投で失格となるプレッシャーとの戦いがあったり、どう相手手を邪魔するか頭を使ったり、どうスポートでもあります。カーリングやビリヤードの要素があるそうです。

投げる際に余力が必要なく、また非公式ですが投げる位置は自由に変えることも可能です。子供や車椅子の方は2m、若い方は4mなど、運営側がルールを工夫すれば、年齢や性別、障害の有無にかかわらず同

じフィールドで戦える「ノーマライゼーションスポーツ」であることが特徴です。

半分は技術、半分は運が必要なモルツク。初心者には偶然の面白さ、経験者には戦略や技術の面白さがあります。勝利の女神がほほ笑めば初心者を経験者に勝つこともあり、実際、モルツク和歌山のチーム内で、車椅子の方が年間優勝したこともあるそうです。

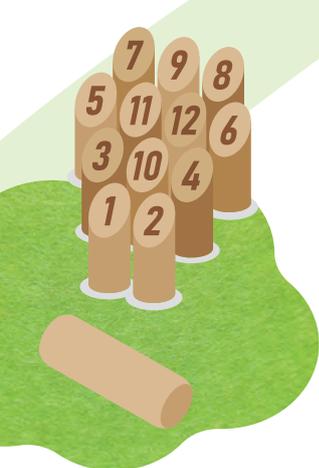
「面白いと思った方は、公園でキャッチボールをするように、いろいろな場所でチャレンジしてほしい」と、河村さんは、おっしゃっていました。

夢の三世代モルツク!!

石垣さんは、みその商店街協同組合の会長でもあり、今回、商店街のイベント「みそのマルシェ」でモルツク体験会を開催されました。体験会には、石垣さんとの縁で県外から移住されたご家族も参加されていました。子供たちが、ピンが倒れるたびに飛び跳ねて喜んでいた姿がとても印象的でした。

ある大会で、孫に後押しされながら投げるおじいちゃんの姿を見た石垣さん。今後の目標は「三世代で作ったチームの大会」を開くこと。いつか和歌山城を背景に、大会を開きたいと熱く語ってくれました。

スポーツには、希薄化した人のつながりを強固にし、地域の活性化や人の輪を広げる力があります。市議会として、多様な方々がスポーツに触れる機会を提供し、新たな交流が生まれる環境づくりに取り組んでいきます。



編集後記



今回モルツク和歌山さん取材する中で、初めてモルツクを商店街で体験させていただきました。初心者には偶然の面白さがあると石垣さんたちにお聞きしましたが、本当にそのとおりで、初めての私たちもとても楽しませていただきました。

体験されたお子様と一緒に、お父さんお母さんも夢中になられている姿が印象的でした。世代を越え、また障害の有無を越えて誰もが楽しめることがモルツクの魅力です。

三世代でのチーム戦の実現は、本当に楽しみです。市議会も応援します。

特集担当: 堀 登美子、林元 光広、永野 裕久

正副議長の挨拶



動画が
ご覧いただけ
ます

市民の皆様方には、日頃から議会活動及び市政発展にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、和歌山市議会の議長並びに副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、心より感謝いたしますとともに、その重責を痛感し、身の引き締まる思いです。

市民の皆様方の信頼と負託に応えるべく、公正で透明性のある議会運営、そして、更なる市政の発展と市民福祉の向上を目指し、誠実に職務に取り組んでまいります。

また、二元代表制の一翼を担う市民に最も身近な市議会として、市民の皆様方のお声を市政へ反映するよう尽力してまいりますので、今後ともより一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

議長・副議長の経歴



副議長

そのうち ひろき
園内 浩樹

(令和6年6月11日就任)
平成23年初当選 現在4期目
建設企業委員会委員長
公営企業決算特別委員会委員長
総務委員会委員長
などを歴任



第90代議長

にわ なおこ
丹羽 直子

(令和6年6月11日就任)
平成23年初当選 現在4期目
厚生委員会委員長
総務委員会委員長
和歌山市議会副議長
などを歴任

6月定例会の概要

開 会

6月11日

- ・会期の決定(6月11日～6月27日)
- ・正副議長の選挙

- ・永年在職議員表彰

- ・議案説明(報告関係14件、承認関係1件、議案16件(補正予算案2件、条例案8件、その他6件))

一 般 質 問 等

6月13日

- ・仮議長の選任
- ・追加議案の説明(人事案件1件)、採決
- ・堀 登美子議員、林元光広議員、
清末博善議員、坂口多美子議員

6月17日

- ・中谷謙二議員、吉本昌純議員、奥山昭博議員
(P6～P9に概要掲載)
- ・議案等の委員会付託

6月14日

- ・追加議案の説明(補正予算案1件)
- ・中庄谷孝次郎議員、南畑幸代議員、
浜田真輔議員、森下佐知子議員

常 任 委 員 会

6月18日～21日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設
企業委員会にて議案について審査

6月24日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決並
びに請願の審査(P10～P11に概要掲載)

特 別 委 員 会

6月25日

- ・地震等災害対策特別委員会

閉 会

6月27日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(森下議員)、採決 ・請願(1件)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件7件)、採決
- ・議員発議(意見書案1件)、採決

令和6年度予算(6月補正後)

一般会計	1,546億1,157万2千円 (補正額43億8,118万2千円)
特別会計及び 公営企業会計	1,376億2,417万5千円 (補正額852万7千円)
合計	2,922億3,574万7千円

補正予算の概要

一般会計では、こども未来基金事業、竜王戦和歌山対局開催事業、こども未来ギフト事業、市民図書館図書充実事業、不登校生徒の学校復帰支援事業、和歌山城公園ライトアップ事業、地域バス本格運行事業、自動運転社会実装推進事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計で、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴い、資格確認書の出力等に対応するためのシステム改修等に要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

ピックアップ

PickUp! 一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

創和クラブ



はやしもと みつひろ
林元光広

学校給食

問 本市の小学校51校中、アレルギーや宗教上の理由により牛乳を提供していない児童は43校の229人、食物アレルギー以外の事情で牛乳が飲用できない児童は28校の139人いる。

問 公共交通を単なる移動

公共交通

答 多くの利用者からは「今後もQR決済を利用したい」、参加店舗からは「お客様単価が上がった」との回答があり、DXに対する機運の醸成と消費の喚起が図られたものと考えられる。デジタル地域通貨の導入については、他都市の状況を調査するなど研究を進めていく。

デジタル地域通貨

問 中心市街地の空洞化が起こり、地域内経済の活性化が課題となる中、昨年1月のわかやま城下町バル開催時におけるDX効果はどうであったか。また、今後のデジタル地域通貨の導入について、どう考えるか。

答 保護者の意向を伺いながら、児童の心情や健康状態に寄り添い、更に丁寧に対応していく。

問 公共交通を単なる移動

公共交通

答 既存概念に捉われないことなく、観光資源や地域資源を生かした自動運転カーポート等の新たなモビリティをはじめ



太地町の自動運転カーポート

手段と捉えるだけでなく、まちづくりの課題解決に向け様々な視点からアプローチする必要があると考える。公共交通が不便で、過疎と高齢化が進んでいる地域においても、自動運転カーポートという新たなモビリティの導入で、地元住民の経済活動が可能となり、一次産業や自然豊かな地域を守ることにもなる。

また、車がなくても生活に支障がなければ運転免許証の返納率は上がり、地域の安全性も守られるが、市長の思い描く支援の仕方と今後の方針はどうか。

食料安全保障



はまだ しんすけ
浜田 真輔

め、公共交通事業者や地域のまちづくりの担い手などとも連携し、様々な視点から研究を重ね、誰もが安心、安全で快適に移動できるまちを目指していく。

問 各地方自治体では、規模の大小にかかわらず、耕作放棄地と農業後継者の問題が深刻化している。農業の基盤というべき農地や担い手の問題は、農業の現場である地方自治体の取組次第である。域内の食料自給率を地方の市町村は持つべきであり、農業の現場に近い市町村が、各自努力して自給率の底上げに寄与すれば、日本全体の食料自給率改善につながるはずである。

和歌山市の農業政策の目指すべき指数として、和歌山市域内の食料自給率を数値化して、その数字を農業活性化の目標や目安としてはどうか。



答 国の農業政策をめぐる情勢では、今国会で成立した食料・農業・農村基本法の一部を改正する法律により食料安全保障の確保が規定されるなど、食料調達リスクの高まりに対応する方針が示された。

市内の食料自給率を数値化し、市が農業活性化の目指すべき目標や目安とすることは、非常に有意義なことであると思うので、市民の食料安全保障の確保を念頭に、目標数値を定め、達成に向けて取り組んでいく。

問 食料自給率の改善には、耕作放棄地の解消、農業後継者の確保が欠かせない。稼げる農業は民間に任せ、サポートする程度にとどめ、自給自足のための農業は、



なかつに けんじ
中谷 謙

福祉的な政策にも大きく関係するため、行政が主体となつて運営し、公金の投入にも値するものだと考える。

和歌山市が中心となつて公社的な農業法人を立ち上げ、耕作放棄地を借り上げて、農地保全を目的に管理責任を担い、広く人材を集め、定めた給与を支払うという公的な組織で営農を行うということに取り組みべきではないか。

答 現在、本市が中心となりJAわかやまや、その関連会社、3ヘクタール以上の実績を持つ民間農業法人と連携し、脱炭素バイオ肥料・リサイクルの推進と併せて休耕地を活用し、耕作放棄地の削減に取り組んでいる。公社的な農業法人を設立し、組織的な営農に取り組むことについては、今後本市の農業の未来を見据えた上でのメリット・デメリットや費用面なども含め研究していく。

学校プール

問 本市の学校プール施設は公立小学校では全校、義務教育学校を含む中学校では18校中15校に設置されているが、設置から40年以上経過している施設が多く老朽化が進んでいる。また、開校当初からプール施設がない中学校は3校あり、修繕が必要で使用できない中学校が1校ある。

答 学習指導要領では適切な水泳場の確保が困難な場合、これを扱わないことができるが、水泳の事故防止に関する心得については必ず取り上げ、教室での座学で学ぶこととされている。

同じ和歌山市の中学校であるにもかかわらず、地域によつては水泳の実技授業が受けられないような教育格差が生じている。

プール施設がない学校、修繕が必要でプールの使用ができなくなった学校、安全面を考慮されている学校に対して予算措置を講じ、実技授業もできる選択肢を増やし、教育格差を是正すべきだと考えるがどうか。



学校プール

答 プール施設がない学校及び使用できない学校とは、プールが使用できる学校と同じような水泳の実技指導を行っていない状況である。

実技指導が行えていない学校については、民間・公営プールの活用や他の中学校のプールを共同で使用するなど、実技指導の機会を設けることができなにか検討していく。

新型コロナウイルス感染症

問 コロナ禍において患者をはじめ、そのご家族、心身の事情で感染対策が難しい方、ワクチン接種ができなかった方など、偏見にさらされ嫌な思いをされた方がいる。このような過ちを繰り返さないため、和歌山市感

染症予防計画にある「市民の役割」として感染症の患者等だけでなく、すべての人に対して偏見や差別をもつて人権を損なわないようにすべきだと思いがどうか。

答 本計画は、計画期間を設けず、感染症に関する国の指針などが変更された際に随時改訂するものである。すべての人が感染症により人権が損なわれることがないよう、また、より効果的な啓発ができるよう適切な改訂を行っていく。

公明党議員団



ほり ともこ
堀 登美子

福祉行政

問 社会の高齢化に比例し、難聴の方も増加している。難聴者が社会に適應しやすい状況を推進するため、軟骨伝導イヤホンを高齢者窓口や障害者窓口を設置してはどうか。

答 高齢者や障害者が訪れ

る窓口に試験的に設置できないかなど、検討する。

問 65歳以上の高齢者が軟骨伝導イヤホンを購入するときに、助成金を支給してはどうか。

答 他市の実施状況も含め調査・研究する。

防災対策

問 災害時のトイレの環境改善は、被災者の命を守る取組として重要である。大災害が起きるとトイレ問題が繰り返されている。

能登半島地震で有効であったトイレトレーラーを導入してはどうか。



トイレトレーラー(富士市)

答 機動性があり非常時に有効なトイレトレーラー等は、避難所運営において有効であると考えられる。今後、

国の補助制度など、具体的な導入方法について検討していく。

問 本市で昨年、線状降水帯が発生し水害被害があった。大災害で命を救う対策として、避難行動要支援者と避難をサポートする人を結ぶ機能が入った防災アプリを導入してはどうか。

答 防災アプリの導入は、逃げ遅れによる被害を防ぐ上で、有効であると考えます。今後、国の動向を注視するとともに、他都市の事例などを研究・検討する。



おくやま あきひろ 奥山 昭博

青少年国際交流センター

問 青少年国際交流センターは、青い海と徳島、淡路島、友ヶ島といった雄大な景色を眺められる素晴らしい立地にあるが、その存在すら知らない市民が多い。家族利用は不可、1か月前までに申請など、利用条件が厳しく、このままでは利用者増は無理である。地

の利があるこの施設を宝の持ち腐れにしないため、現在の利用条件を緩和し誰もが気軽に利用できるようにすべきだと考えるがどうか。



青少年国際交流センター

答 今後は、当センターの利用者の意見を聞くとともに、加太のすばらしい立地条件を生かして、更なる利用促進につながるような緩和策を検討していく。

認知症対策

問 長寿命化により認知症患者が年々増加する中、本市として今まで実施してきた施策の実績と経験を生かし、介護サービス充実や予防治療体制等の対策強化を急ぐべきときが来ている。認知症施策推進計画の策定は努力義務とされている

が、本市でも計画の策定が必須であると考えます。計画を本当に実効性があるものとして策定するために、具体的にどのように進めていくかと考えているのか。

答 専門性を有する民間会社も活用しながら、認知症の人及び家族をはじめ、当事者団体、学識経験者等のご意見を伺い、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持つて暮らすことができるよう、関係機関一丸となり計画策定に取り組んでいく。

民主クラブ



きよすえ ひろよし 清末 博善

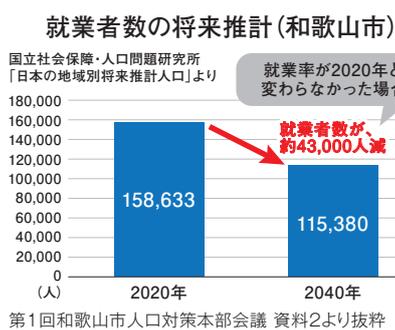
人口減少問題

問 人口減少問題は、本市においても避けて通れない重要な課題であり、人口の社会増を実現するには、働く先があることが最も重要であると考える。

市として、既存企業への各支援メニューがある一方、

毎年数十社の企業が倒産している現状がある。支援メニューの更なる要件緩和や拡充が、既存産業の振興につながると思うが、今後の取組をどう考えるか。

また、国会で水素社会推進法案が可決され、低炭素水素等の製造・供給事業の発展が見込まれる中、ゼロカーボンシテイ実現も見据えて、GX産業の誘致に取り組むべきと思うがどうか。



答 支援メニューの要件緩和や拡充等は、社会情勢の変化や企業のニーズを的確に捉え、本市産業の振興が図れるよう、必要に応じて見直しを行うしていく。また、GX産業の立地は、既存産業における水素の利活用促進など地域の脱炭素化に与える

影響も大きいと考えます。今後の動向に注視し、県と連携を図りながら誘致に取り組んでいきたいと考える。

問 将来、和歌山市にある産業企業で働きたいと思う人やUターン・リターンで戻ってくる人を増やすため、義務教育段階から、市内の様々な産業企業を体験することが必要だと思うが、現状でどれくらい学びや体験の機会があるか。

また、奨学金返還支援について、一部の業種に限られており、実績が伸びていない。人材不足が懸念される業種を対象に追加すべきだと思うがどうか。

答 小学校では和歌山市の企業に見学に行ったり、地域の実態に応じて農業や水産業を体験したりして、様々な職業について学び、中学2年次では、市内の民間企業等で職場体験を実施しており、社会人としての基本的な知識・技能を身につける学習を行っている。

奨学金返還支援制度の更なる業種の拡充は、現在国に確認しているところである。

和歌山興志クラブ



よしもと まさずみ
吉本 昌純

教育行政

問 子供たちの成長段階にあつて、人間形成において多様な本に触れることが大変重要であると考えます。

答 国は、第6次学校図書館図書整備5か年計画で学校司書の配置目標値を掲げており、本市も地方財政措置を活用して計画的に増やすべきだと思っております。

問 今後、学校図書館の利用の一層の促進に貢献するために、学校司書の増員も含め計画的・効果的な配置により読書活動の推進に取り組んでいく。

上水道事業

問 六十谷水管橋崩落の際、しっかりと市を監視していかなければと心に誓ったとともに、有事の際、すぐに機動力を発揮できる公営での水道事業で良かったと感じた。

世界中で民営化に失敗し再公営化もされている中、上水道事業は、安易に民間に委ねず、本市独自の責任の下、進めるべきである。

和歌山市水道ビジョン2024策定に際してのパブリックコメントでも、広域化により民営化が進むと危惧されるなどの反対意見が多数寄せられ、多くの市民が不安に思っている。

水道ビジョンに、「企業局が水道事業の主体性を持ちつつ」と追記されているが、民営化は考えていないと理解してよいのか。



和歌山市水道ビジョン2024

答 事業運営や各施策について、企業局が主体となり取り組んでいくものであり、全てを民間に委ねる民営化は考えていない。

日本共産党議員団



さかくち たみこ
坂口 多美子

生活困窮者への医療提供

問 特別な理由で一部負担が困難な人へ国保の負担金減免制度があるが、滞納世帯は利用できないとの掲載は不適切と考えるがどうか。

答 特別な事情があれば適用できるため、ホームページの表現の見直しをしていく。



みなみばた さちよ
南 畑 幸代

高齢者施策

問 高齢者見守りシステムの設置が5か月待ちの状況について改善策はないのか。

答 設置が円滑に行えるよう取り組んでいく。

問 孤立・孤独死防止策が必要だと思っておりますがどうか。

答 関係部局と情報共有し防止策につなげていきたい。

日本維新の会



もりした さちこ
森下 佐知子

公益通報制度と市の姿勢

問 公益通報により平井子ども会における不正を告発した職員が自死したが、真相解明が必要ではないか。

答 公益通報に基づく調査結果で不正を把握した。若い職員が勇気を出して指摘した思いを救えず非常に残念でならないと今も感じる。



なかしょうや こうじろう
中庄谷 孝次郎

財政から見る和歌山市の問題点と解決方法

問 公債費と人件費が市の経常収支比率の多くを占め、財政を圧迫している。公共施設マネジメント基本方針にある人口一人当たりの公共建築物保有面積の縮減に

ついて、計画通りの数値を出し、公債費の健全化に努めるべきと考えるがどうか。
人員は、施設数や業務の見直しなど行政の形を考え、定員適正化計画を早急に作る事が人件費対応の第一歩となると思うがどうか。

答 公共施設マネジメント基本方針に示す市民サービス向上、効率的で効果的な管理運営、財源確保に取り組む、公債費の健全化に努める。行財政改革実施計画を見直す際に職員数適正化の具体的な取組を盛り込む。

声の市議会だより

(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 秘書広報課
☎435-1120 までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された承認案件1件及び議案5件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和6年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、**地方就職学生支援事業**48万円について。これは、東京圏の大学を卒業予定の学生に対する和歌山市内への移住を伴う県内就職を支援するため、支援金を補助するものです。



コミュニティ助成事業(地区防災会)200万円について。これは、コミュニティ助成金を活用し、地区防災会の防災資機材の整備に要する経費を助成するものです。



議案第3号、**和歌山市税条例の一部を改正する条例**の制定について。これは、地方税法等の一部を改正する法律が、令和6年3月30日に公布されたことに伴い、再生可能エネルギー発電設備に対する固定資産税の課税標準の特例措置の延長、特定バイオマス発電設備に対する固定資産税の課税標準の特例措置について、国が示す参酌基準どおりとし、また、一体型滞在快適性等向上事業の実施主体が整備した一定の固定資産に対して課する固定資産税及び都市計画税の課税標準の特例割合を定めるなど所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、令和6年能登半島地震に伴う本市の派遣状況などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継

6月18日

6月20日

厚生委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、可決すべきものと、また、請願1件について、不採択とすべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和6年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、**コミュニティ助成事業(自治会)**500万円について。これは、コミュニティ助成金を活用し、住民が主体的に行うコミュニティ活動に直接必要な備品等の整備費用を助成するものです。

低所得者支援給付金事業7億7520万2千円について。これは、令和6年度に新たに非課税や均等割のみ課税となる世帯等に対し給付金を給付するため増額補正するものです。

施設開設準備経費助成事業6320万4千円について。これは、介護施設等の大規模修繕の際にあって行なう、介護ロボット・ICTの導入に要する経費を助成するものです。

児童手当事業7億7580万円について。これは、所得制限の撤廃、高校生年代までの支給期間延長などの児童手当制度の改正に伴い、増額補正するものです。

新型コロナウイルスワクチン接種事業8億3902万9千円について。これは、新型コロナウイルスワクチンの予防接種が、定期接種となつたことに伴うワクチン接種に要する経費及び健康被害救済のための健康被害の認定者に対する給付金を増額補正するものです。

ごみ収集運搬事業1962万5千円について。これは、令和7年度から一般廃棄物の収集運搬業務委託の一部について、市が直接収集するよう事業内容を見直すため、収集運搬車を購入するものです。



なお、審査過程において、令和5年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算見込、令和6年度国民健康保険料率等及び国民健康保険事業の運営、新型コロナウイルスワクチン定期接種などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継

6月19日

6月21日



委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

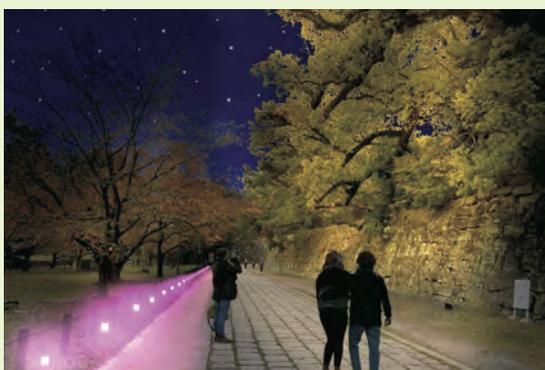
議案第1号、令和6年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、**竜王戦和歌山対局開催事業**1340万円について。これは、将棋タートル戦の第37期竜王戦和歌山対局開催に係る実行委員会を立ち上げ、大会開催等に要する経費に対し、交付金を交付し、また、この機会に子供たちが「将棋」に触れるきっかけを創出するものです。

和歌山城公園管理事業57万円について。これは、和歌山城北辺櫓群の復元に向けた石垣下層部の状況確認及び掘底の汚泥堆積の状況を確認するため、テレビ番組のロケを誘致することに伴う警備等に要する経費を補正するものです。

市民図書館図書充実事業958万8千円について。これは、子ども未来基金を活用し、市民図書館、西分館及び移動図書館の子供や若者向けの図書を充実させるものです。

和歌山城公園ライトアップ事業4153万6千円について。これは、夜の和歌山城の魅力を向上し、

更に活用を進めるため、大手門から二の丸にかけてライトアップ設備を設置するものです。



和歌山城公園ライトアップイメージ図

学校夜間照明設備改修事業6994万9千円について。これは、学校夜間照明の集約化及び老朽化対策を行うため、中学校の照明設備の改修を行うものです。

なお、審査過程において、砂山地区に設置する新たなコミュニティセンターの管理運営について、附属機関の開催について、夜間中学について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



6月19日



6月21日

建設企業委員会

当委員会に付託された議案6件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和6年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、**地域バス本格運行事業**481万5千円について。これは、川永・紀伊地区において、地域が主体となつて運営する地域バスの本格運行に対して支援を行い、交通ネットワークの構築を図るものです。



地域バス

により期待される効果等の検証を行うものです。

まちなか再生計画推進事業657万8千円について。これは、和歌山市駅前南地区において、再開発準備組合が設立されたことから、準備組合に対し助成することともに、事業の効果測定を行い、活性化に寄与する施設整備の検討を行うものです。

市営住宅ストック総合活用計画推進事業1億1778万8千円について。これは、市営住宅ストック総合活用計画推進事業に対する国庫支出金の内示に合わせて増額補正を行うものです。

議案第18号、令和6年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、**自動運転社会実装推進事業**5000万円について。これは、バス事業者の乗務員不足の解消を図るため、自動運転バス等の導入可能性について調査するための実証運行を行うものです。

なお、審査過程において、和歌山市新水道事業ビジョン水道料金検討会議の内容及び意見などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

和歌山北インターチェンジ整備検討事業450万円について。これは、現在、北進方面のみのハーフインターである和歌山北インターチェンジについて、フルインター化

録画中継



6月18日



6月20日

永年在職 議員表彰

和歌山市議会6月定例会において、永年在職議員として、次の議員が表彰されました。

在職25年



やまもと こういち
山本 宏一 議員

在職20年



しばもと かずき
芝本 和己 議員



第35回全国「みどりの愛護」のつどいが開催されました

6月1日、第35回全国「みどりの愛護」のつどいが和歌山城ホールにて開催され、秋篠宮皇嗣同妃両殿下が御臨席されました。式典には、戸田前議長はじめ多くの市議会議員が出席し、花と緑の愛護に顕著な功績があった団体に国土交通大臣から、都市緑化功労者に和歌山県知事から感謝状が贈られました。

また、式典終了後には、和歌山城公園でソメイヨシノやクスノキなどの記念植樹が行われました。



ようこそ! 和歌山市議会へ



5月27日に伏虎義務教育学校、30日に木本小学校の6年生が、議場見学に来られました。議場や委員会室などをご案内し、市議会の役割について説明しました。

また、6月17日に広瀬小学校の6年生が、議会の傍聴に来られました。

これをきっかけに、市議会へ興味を持っていただけたとうれしいです。



議員連盟

活動 レポート

Vol.29

紀の川大堰に関する和歌山市議会議員連盟は、市民の生命・財産を守り、水害に対する不安を払拭するとともに、既存用水の安定取水を確保するため、新六箇井堰の全撤去の早期実施を求めています。5月に新六箇井堰切欠(一部)工碑披露式典を開催しました。堰の全撤去を目指し、今後も国などへ要望活動を続けてまいります。



式典の様子

市民に最も身近な市議会を目指しています!

和歌山市議会広報委員会

- 【委員長】中谷 謙二 【副委員長】堀 良子
 【委員】山野 麻衣子 山路 恭世 清末 博善
 堀 登美子 辻本 太一 林元 光広
 新古 祐子 坂口 多美子 永野 裕久

市議会だよりを採点してください!

議会広報アンケート
 実施期間:
 令和6年10月31日
 (木)まで



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

個人情報保護の観点から、議員名簿について一部見直しを行いました。

地球環境保護のために、再生紙及び植物油インキを使用しています。

